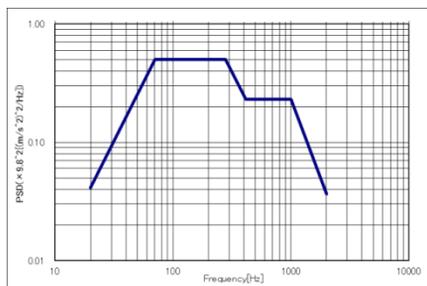
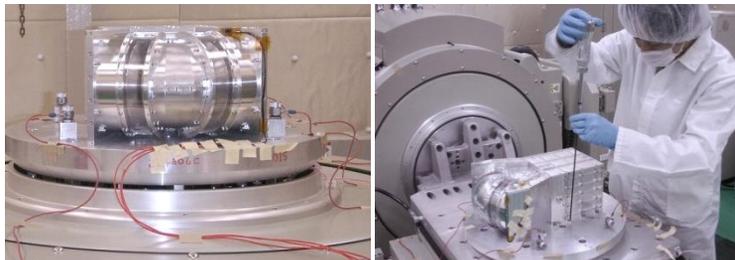


振動衝撃試験装置

設備概要

振動衝撃試験装置は、小型人工衛星およびロケット、人工衛星搭載機器が打ち上げ時に加わる振動を地上で模擬し、耐振動性能を確認するとともに、供試体の振動応答（共振周波数、共振倍率など）を取得することで、設計に対する解析の妥当性を確認することができます。また、低周波衝撃試験にも対応しております。



ランダム振動試験レベル例

特徴

- 清浄度クラス10万相当（条件による）
- ロケット、人工衛星コンポーネントから小型人工衛星（100kg以下）までの振動衝撃試験が可能
- 作業控室完備
- 適用規格 MIL-STD-810

設備仕様

【加振力】

- サイン 100.0kN
- ランダム 80.0kN（ISO5344規格）
- ショック 250.0kN_{0-p}

※上記加振力は供試体および治具の重さにより変動するため、詳細についてはお問い合わせ下さい。

【振動数範囲】

～2000Hz

【最大変位】

60mm_{p-p}

【可動部質量】

90kg

【最大搭載質量】

500kg

【計測CH数】

12ch（制御4ch含む）

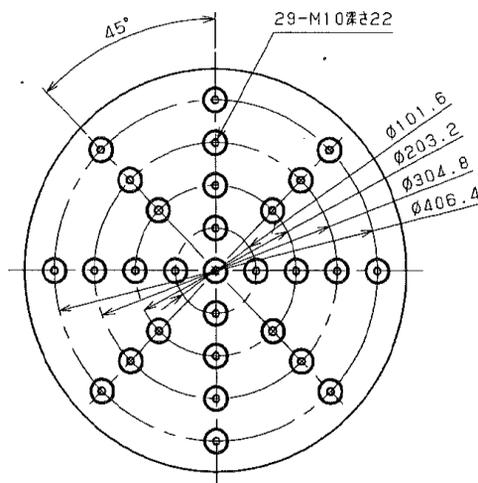
水平加振台仕様

【寸法】

600×600mm

【質量】

70kg



本体可動部取付寸法 単位 (mm)

お問い合わせ

技術提供として、構造モデルの作成・校正支援、試験サポートおよび結果評価等も承っております。設備使用料、土日対応、その他ご要望につきましては、別途お問い合わせください。

<宇宙防衛事業部 営業部>

TEL: 03-6204-8252

aerospace@meisei.co.jp

